

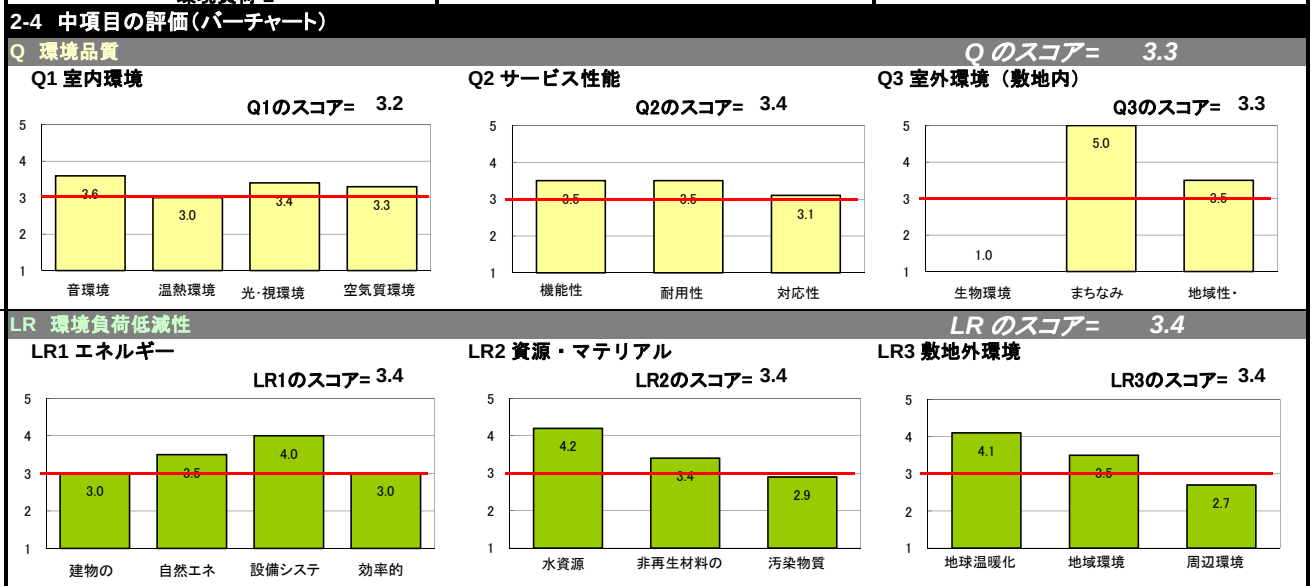
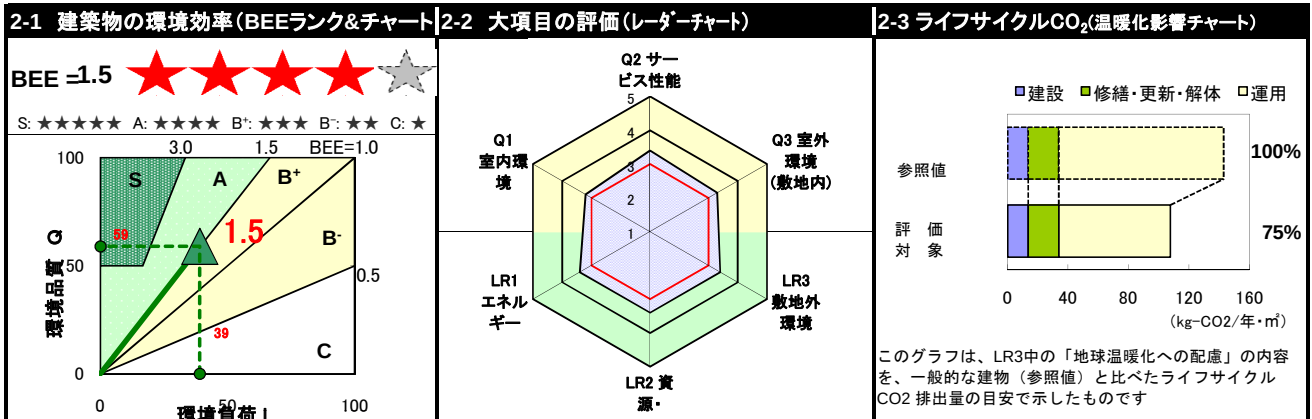


新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	京都府医師会館	階数	地上7F	
建設地	京都府京都市中京区西ノ京桐尾町	構造	S造	
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	600 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,000 時間/年	
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2010年9月 予定	評価の実施日	2009年4月30日	
敷地面積	3,268 m ²	作成者	株式会社日建設 足田誠二	
建築面積	2,284 m ²	確認日	2009年5月11日	
延床面積	8,199 m ²	確認者	株式会社日建設 川島克也	



3 設計上の配慮事項		
総合 建築への影響を抑え、都市に与える影響に配慮した計画		その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 事務室、会議室における遮音・吸音性能など、音環境に特に配慮	Q2 サービス性能 空間・階高のゆとり、更新性のよさに配慮	Q3 室外環境(敷地内) まちなみ・景観との調和、歩行者への空地の提供など、都市環境に配慮
LR1 エネルギー 自然通風等、自然エネルギーの積極的利用	LR2 資源・マテリアル 雨水利用やエコマテリアルの採用等	LR3 敷地外環境 敷地外環境に対する影響を抑えた計画

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される